

先週の幼児の姿(10の姿に視点をあてて)	○ 教師と一緒に身支度や片付けなどに取り組んできたことから自分から行おうとする姿が見られ、一人でできることや友達と片付けをすることなどに喜びを感じている様子が見られる。しかし、午後や週末になると疲れが出てくることから片付けなどを渋る姿が見られる。①②③ ○ 幼稚園で遊ぶことを楽しみに登園してくるが、中には保護者から離れる不安や寂しさから泣き出してしまう姿が見られる。①② ○ 友達との関わりが増えてきたことで、物の取り合いや伝え方が強くなってしまふことから言い合いになるなどのトラブルが増えてきている。⑨ ○ 水を使った砂遊びで裸足になり、思い切り遊ぶことで開放感や水の心地よさを楽しんでいるが、中には、裸足になることに抵抗がある幼児の姿も見られる。①⑦⑩					ねらい	○教師や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。①③⑨ ○水や素材の様子・感触を味わいながら遊びを楽しむ。⑥⑦⑩
	内容	○好きな遊びをしたり、友達と一緒にいることを楽しんだりする。 ○水や素材を使って遊ぶことや冷たさや感触の心地よさなどを味わいながら遊ぶ。					
日曜	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15(木)	16日(金)	遊びを充実させる環境の工夫と援助	
行事	加須市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当幼稚園訪問			給食費等集金日		<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と遊んでいる中で「面白そう」「やってみたい」という気持ちに共感し、十分に受け止めていくことで、自分から遊んでやってみようとする気持ちをもてるようにする。 遊具や用具が入っている場所にイラストなどで表示を付けることで、自分で遊びを進められ、片付けも自分から行えるようにする。 	
予想される活動	○教師や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。—————→ (ままごと、ブロック、お店屋さんごっこ など) ○水を使ったいろいろな遊びを楽しむ。—————→ (水を使った砂遊び、シャボン玉遊び、片栗粉遊び、スライム など)					準備するもの	
環境構成と援助のポイント	○友達のしている遊びに関心をもった幼児には、教師も一緒に「入れて」「貸して」など必要な言葉を添え、同じ遊具を扱ったり、同じものをつくったりして友達とのかかわりがもてるようにする。 ○幼児同士のやり取りを見守りながら、絵の具の色の変化や、水や砂の触った感触、感じたことや伝えたいことなど、幼児の発見や気づきを丁寧に受け止めて共感することで、遊びを楽しめるようにするとともに、言葉で表現する喜びが味わえるようにする。 ○遊びを一人一人が楽しく遊べるように、遊具や用具の数を多めに用意しておく。 ○トラブルが起きた時には、教師が互いの思いを受け止めて必要な言葉を伝えたり、代弁したりすることで相手の思いに気付けるようにする。 ○感触を楽しむ遊びに抵抗を示す幼児には、無理なく楽しめる範囲で遊びに誘う。また、教師と一緒にいき、安心して遊びに参加できるようにする。 ○遊びの準備や後片付けには、日々の繰り返しの中で身支度のやり方を身につけられるように十分に時間をとって、一人一人の様子を知り、関わるようにする。 ○幼児が興味をもてるように教師自身が楽しみながら一緒に遊んだり、一人一人の思いを言葉にして伝えていったりする。					スポンジペン、刷毛、スポンジローラー、カップ、ペットボトルバケツ、シャボン玉液、片栗粉 スライム など。	
						評価の観点	
						<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と一緒に好きな遊びを楽しむことができたか。 水や素材の様子・感触を味わいながら遊びを楽しむことができたか。 	